

年間イベントスケジュール

	企画展示室	その他
4月	<p>企画展</p> <p>高橋義樹文庫開設記念 高橋義樹が見た横井庄一の帰還 4/3(水)～6/30(日)</p> <p>高橋義樹(1917～1979)は、太平洋戦争時、海軍報道班員として従軍したグアムで捕虜になり、ハワイの収容所に送られます。そこで訊問官のドナルド・キーンと出会います。ふたりは、戦後の日本で再会し親交を深めました。</p>	<p>4/6(土)ギャラリートーク (高橋一清氏)</p> <p>4/13(土)ギャラリートーク (副館長 中津義人)</p> <p>4/7(日)～4/21(日)ロビー展</p> <p>4/14(日)クレデンザを愉しむ会</p> <p>4/21(日)映像ライブラリー上映会</p>
5月	<p>また、同じグアム島に潜伏していた横井庄一の帰国に関心を寄せ、1972年『グアム島の生と死』を刊行しています。捕虜となりながらも終戦の翌年には帰還した高橋義樹と、28年もの間グアムで身を潜め続けた横井庄一、両者の運命を分けたものは何だったのでしょうか。</p>	<p>5/4(土)源氏物語講座</p> <p>5/5(日)～5/19(日)ロビー展</p> <p>5/12(日)クレデンザを愉しむ会</p> <p>5/19(日)映像ライブラリー上映会</p>
6月	<p>なお、当館は、高橋義樹の遺族から1,000点以上の資料の寄贈を受け、2023年に企画展「未来への伝言 高橋義樹、ドナルド・キーンの太平洋戦争」を開催、2024年には館内リニューアルを行い、「高橋義樹文庫」を開設しました。</p>	<p>6/2(日)クレデンザを愉しむ会</p> <p>6/2(日)～6/16(日)ロビー展</p> <p>6/9(日)猿八座上演「耳なし芳一」ほか</p> <p>6/16(日)映像ライブラリー上映会</p>
7月	<p>サロン展示</p> <p>宮澤正明写真 7/6(土)～7/28(日)</p> <p>ドナルド・キーンの晩年を撮影し続けた写真家宮澤正明の作品を展示します。</p>	<p>7/6(土)源氏物語講座</p> <p>7/7(日)～7/21(日)ロビー展</p> <p>7/14(日)クレデンザを愉しむ会</p> <p>7/28(日)映像ライブラリー上映会 (※8/10(土)までロビーで上映)</p>
8月	<p>企画展</p> <p>ドナルド・キーンと平和 8/3(土)～9/29(日)</p>	<p>8/3(土)猿八座こども教室</p> <p>8/4(日)～8/18(日)ロビー展</p> <p>8/11(日)クレデンザを愉しむ会</p> <p>8/18(日)映像ライブラリー上映会</p>
9月	<p>東京都北区で毎年行われている平和祈念週間の企画展。ドナルド・キーンは北区に45年間住み、名誉区民、アンバサダーも務めました。今回は『日本文学を読む』(新潮選書 1977)所収「井伏鱒二」の直筆原稿を展示します。</p>	<p>9/1(日)～9/15(日)ロビー展</p> <p>9/7(土)源氏物語講座</p> <p>9/8(日)クレデンザを愉しむ会</p> <p>9/15(日)映像ライブラリー上映会</p>
10月	<p>サロン展示</p> <p>ドナルド・キーンコレクション 10/5(土)～10/27(日)</p> <p>ドナルド・キーン愛用の品々を展示します。</p>	<p>10/6(日)～10/20(日)ロビー展</p> <p>10/13(日)クレデンザを愉しむ会</p> <p>10/19(土)講演会(竹村牧男氏)</p> <p>10/20(日)映像ライブラリー上映会</p>
11月	<p>企画展</p> <p>ドナルド・キーン「声の残り 私の文壇交遊録」挿画 守屋多々志展 11/2(土)～12/25(水)</p>	<p>11/2(土)源氏物語講座</p> <p>11/3(日)～11/17(日)ロビー展</p> <p>11/10(日)クレデンザを愉しむ会</p> <p>11/17(日)映像ライブラリー上映会</p> <p>11/24(日)猿八座上演「国性爺合戦」</p>
12月	<p>日本画家の守屋多々志氏(1912-2003)は、1992年に朝日新聞で掲載されたドナルド・キーン「声の残り 私の文壇交遊録」(全57回)の挿画を担当しました。本企画展ではこの挿絵の原画を展示します。また、ドナルド・キーンを魅了し、本年大河ドラマでも注目される「源氏物語」の扇形画もご覧いただけます。</p>	<p>12/1(日)～12/15(日)ロビー展</p> <p>12/8(日)クレデンザを愉しむ会</p> <p>12/14(土)源氏物語講座</p> <p>12/15(日)映像ライブラリー上映会</p>

生島の死



堀川 潭



ドナルド・キーン

声の残り
私の文壇交遊録

金岡寿夫訳



日本の作家たち
第一編 作家個人とその
文壇を交遊録に基いて